



社団法人 日本理学療法士協会

# 富山県士会ニュース

平成18年度 No. 4 (通算 104号)

総会員数 326名 (休会31名)

全103施設

2007. 2. 26 発行人 社団法人 日本理学療法士協会 富山県士会  
〒936-0023 滑川市柳原149-9 富山医療福祉専門学校 理学療法学科内 ☎(076) 476-1716  
代表: 塚本 彰 編集: 赤尾 健志 印刷: 志貴野苑  
士会URL:<http://toyamapt.umin.ne.jp/> 事務局アドレス:toyamapt-office@umin.ac.jp

## CONTENTS



### 管理者会議

会長メッセージ .....	2	平成19年度特別会計収支予算(案)...	10
平成19年度事業計画指針 .....	2	平成19年度一般会計収支予算(案)...	11
管理者会議 .....	3	理事会報告 .....	12~13
介護予防事業関係者の集いに参加して...	4	士会員の独り言 .....	13
第6回循環器講習会報告 .....	4	北陸三県理学療法士交流会報告.....	14
あすなろ研修について .....	5	2007年富山県理学療法士会新年会...	14
第5回リハビリテーション研修会を開催...	5	事務局インフォメーション・編集後記 .....	15
平成19年度事業計画案(案).....	6~9	平成18年度賛助会員名簿・会員異動状況 .....	16
平成19年度一般会計収支予算(案)...	10	平成18年度求人広告.....	18~20

平成19年1月4日

## 会長メッセージ

富山県理学療法士会 会長 塚本 彰

「平成19年度の事業計画」を実現するためには会員の意見を傾聴し、対話により活力のある行動計画を実行していきます。

重要活動方針は富山県をいくつかの地区に分け、小規模な地区で会員が顔見知りになり、気軽に相談できる環境を作ることです。今後、そこから生まれる仲間づくりにより、互いに顔の見える事業が展開できれば良いと考えています。

今後、急速に各疾患に波及していくと思われる医療・福祉への地域連携については各地区の実情に合わせて話し合っていくことが重要です。また、理学療法士としての必要な資質の向上は各局で推進していただき、時代に即した理学療法専門知識や他部門の幅広い見識の習得の場なども計画していくことが必要です。

富山県民からの社会的要請に応えられるように、会員への学術的研鑽を応援し、公益活動を推進していきたいと考えています。

## 平成19年度事業計画指針

平成19年度事業計画作成にあたり以下の方針を提示致します。

### 基本方針

1. 会員相互の交流を推進し、活力ある士会活動を行う。
2. 円滑な組織運営と将来展望を図る。
3. 県民の保健、医療、福祉に寄与する。
4. 他団体との交流、共同の取り組みを促進する。

### 活動方針

1. 県民に対する公益事業を推進し社会貢献につとめる。
2. 局長を中心に事業を行う。
3. 教育研修計画を会員に配布し計画的に事業を行う。
4. 理学療法士の職場管理運営などについて対話と交流を図る。

### 重要活動方針

富山県をいくつかの地区に分け、地区代表者を定める。



# 管 理 者 会 議

西能病院 森田 忠秀

平成18年12月6日(金)14時から17時まで、とやま健康パーク第一研修室にて、管理者(理学療法士代表者)会議が開催されました。今回は、はじめに南砺市民病院の堀尾欣三氏から『職場管理とメンタリング&コーチング』の伝達講習をしていただきました。参加者の多くはコーチングの話を聞くことが初めてであり、「とても参考になった」、「今後活用していきたい」との声が多く聞かれました。

次に、急性期病院、療養型病院、老人保健施設など5つのグループに分かれてグループ討議が行われました。それぞれの施設での問

題点や管理者としての悩みなどが話し合われましたが、今回は4月に診療報酬改定があり、療養型病院での点数算定の問題など切実な悩みもありました。

今回は昨年引き続き二回目の管理者会議となり、昨年を上回る32名の代表者が参加されました。参加者の中には20歳代の管理者も見受けられ、先輩の先生方からの確かなアドバイスを聞くことができたのではないかと思います。今回参加できなかった管理者の方も来年度はぜひ参加していただき、悩みをみんなですべて解決できる会議になればと思います。



## 介護予防事業関係者の集いに参加して

西能病院 高柳真理子

平成18年11月19日（日）、富山市障害者福祉プラザにおいて保健事業部主催の『介護予防事業関係者の集い』を開催しました。4月の介護保険制度改正により始まった「新予防給付における取り組み」をテーマに、砺波市包括支援センターから保健師の中本悦子氏、南砺市訪問看護ステーションからPTの今井かおり氏、介護老人保健施設ちょうろくからPTの槻市太郎氏、島田病院からPTの林香織氏をシンポジストとしてお招きし、約半年間の成果や問題点などを発表していただきました。県内の病院や関連施設のPT・OTのみならず、保健師、介護士など90名近くの方が参加されました。

各シンポジストの発表後に行われた意見交換では、短い時間の中、参加者の方々から多くの質問や意見がありました。“具体的な目標があればモチベーションも高くなり積極的に取り組まれ効果は上がりやすいが、現実はなかなか目標がはっきりしないことが多く効果もいまいち”

“機能改善を重視したりハビリのためのリハビリになっていないか、利用者の生活の中で生かされているのかどうか”など、現場の悩みや厳しい質問が飛び交い、考えさせられる場面もありました。また、現場では新しいサービスへの様々な取り組みが手探りの状態で進められているのだと実感することもできました。私自身、医療機関で働いており今回の制度改正に関してほとんど把握できていなかったもので、大変勉強になりました。

介護予防の目的は、高齢者本人の自己実現の達成を支援すること、その方の生活の再構築を図ることであり、関係多職種が各専門性を生かし、ひとりひとりの目標をはっきりさせた上で必要なサービスを提供することが重要だと感じました。

健康長寿の分野でよく耳にする『PPK（ピンピンコロリ）』のように多くの人は亡くなる直前まで健康で長生きしたいと願っています。私もその一人であり、勤務中にもかかわらず、諸先輩方（患者様）にいつも長生きの秘訣など必死に聞き回っています。今後も今回のシンポジウムで得た知識や情報を生かし、最期のときを迎えるまでその人らしく生活できるよう支援していきたいと思えます。



## 第6回循環器講習会報告

厚生連滑川病院 銭谷 嘉純

11月5日に6回目となる循環器講習会を開催しました。学術部循環器研究会が年1回ずつ企画しています。参加者数はおおよそ20名。ありがたいことに新人教育プログラムの単位も取得できますので、参加者数は毎年順調に確保できております。内容は循環器疾患の基礎知識や心電図モニターの見方、運動処方工夫や症例検討などです。時間はおよそ6時間にわたります。講師が不慣れで参加者の方々にご迷惑をお掛けした点もありましたが、概ね好意的な反応をい

いただきました。今まで循環器疾患のリハビリテーションはマイナーな分野と思っていましたが、最近では疾患別の診療報酬体系が導入され、にわかに注目されつつあるようです。講習会を企画する側としては喜ばしいことでした。循環器疾患に興味を持たれる県士会員の方々も増えるかもしれません。次は第7回目の講習会となります。できればどこかの病院で心大血管疾患リハビリを実際に立ち上げていただき、今後はそちらのスタッフの方からリアルなお話をいただければとも思っています。

話は変わりますが11月18日には循環器・呼吸ケア研究会の合同企画で学術研修会を開催しました。聖マリアンナ医科大学病院の渡辺敏先生をお招きし、「心大血管疾患のリハビリテーション」とのテーマでご講義をいただきました。県士会員の皆様には多数のご参加をいただきありがとうございました。紙面をお借りしまして感謝申し上げます。

## あすなる研修について

魚津病院 紙谷 昭央

平成18年11月26日(日)、富山県士会卒後教育部主催によるあすなる研修会が富山医療福祉専門学校にて開催されました。午前中は魚津市健康センターの森山明先生を講師に「医療法・理学療法士法」の講演が行なわれ、理学療法士を取り巻く法律・制度についての話から最近の制度改正についてと幅の広い内容でした。また、富山大学附属病院の石黒幸治先生を講師に「理学療法における研究方法論」の講演が行なわれ、研究の種類、方法のみではなく研究を行なうメリットや講師の体験を基にしたアドバイスも随所に含まれており、研究活動に対して興味を持てる内容でした。

午後からは、ポスター発表形式での「あすなるカンファレンス」が行なわれました。今回は、会場を3箇所に分けて行い15名の発表がありました。内容も充実し活発な意見が飛び交う有意義な時間になったと思います。

最後に、日々お忙しい中発表された先生方、日曜日の1日を研修会に参加された先生方に心より感謝致します。

## 第5回リハビリテーション研修会を開催

11月15日(水)、サンシップとやまにおいて、第5回リハビリテーション研修会が開催されました。この研修会は県内の特別養護老人ホームで働いているの方々への研修会で、看護師、介護士、管理栄養士、作業療法士などの32名が参加されました。今回の研修会テーマは、昨年と同様「摂食・嚥下障害について」とし、講師には山田温泉病院言語聴覚士の藤岡先生、高志リハビリテーション病院管理栄養士の石崎先生、砺波総合病院理学療法士の碓井先生の3名をお招きしました。言語聴覚士、管理栄養士、理学療法士というそれぞれの立場から、摂食機能療法や食事の工夫、誤嚥した場合の呼吸理学療法などを分かりやすく受講者の方に説明して頂き、みなさん真剣に聞き入っておられました。研修会終了後のアンケートでも、受講者の方々には概ね好評だったということで福祉事業部としても一安心しております。ただ、空調の具合が今一つで、寒かったり暑かったりと講師の先生方や受講者のみなさんに御迷惑をおかけしたことをこの場をかりて謝りたいと思います。

# 富山県理学療法士会 平成19年度事業計画(案)

## 〈学 術 局〉

〔専門領域研究部〕

### 1. 専門領域研究部会

(1) 専門領域研究部会 (1回開催)

(2) 研究会連絡会議 (3回開催)

### 2. 研究会活動

(1) 循環器研究会

#### ① 研究活動

#### ② 第7回循環器講習会の開催

a) 日 時：平成19年11月4日(日)

b) テーマ：「循環器障害を捉える」

c) 講 師：

銭谷嘉純(富山県厚生連滑川病院)

田形 学(富山県立中央病院)

大崎泰信(富山県厚生連高岡病院)

梅野 晃(高志リハビリテーション病院)

d) 会 場：富山県厚生連滑川病院

(2) 呼吸ケア研究会

#### ① 研究活動

#### ② 第7回富山県呼吸理学療法セミナーの開催

a) 日 時：平成20年2月23日(土)

b) テーマ：未定

c) 講 師：嶋先 晃(市立砺波総合病院)

d) 会 場：富山市民病院

#### ③ 小研修会の開催

a) 日 時：平成19年8月3日(金)・  
10月5日(金)

b) 内 容：未定

c) 講 師：呼吸ケア研究会企画委員

d) 会 場：富山市民病院

(3) 生活支援系研究会

#### ① 研究活動

#### ② 研修会の開催

a) 日 時：平成19年11月11日(日)

b) テーマ：「自立支援に向けての理学療法士の関わり方」

c) 講 師：生活支援系研究会企画委員

d) 会場：サンシップとやま

(4) 中枢神経系研究会

#### ① 研究活動

#### ② ケース・スタディーの開催

a) 日 時：平成19年9月8日(土)

b) テーマ：「片麻痺の評価と治療」

c) 講 師：仲川 仁(山田温泉病院)

d) 会 場：八尾総合病院

#### ③ 研修会の開催

a) 日 時：平成20年3月23日(日)

b) テーマ：「片麻痺者の歩行と短下肢装具」

c) 講 師：江原義弘(新潟医療福祉大学)

d) 会 場：富山医療福祉専門学校

#### ④ 小研修会の開催

a) 日 時：毎月第4木曜日

b) 内 容：単一症例検討会を通じてあ  
すなる研修や学会発表につ  
なげる伝達講習会

c) 講 師：中枢神経系研究会企画委員

d) 会 場：温泉リハビリテーション  
いま泉病院

(5) 骨関節疾患研究会

#### ① 研究活動

#### ② 研修会の開催

a) 日 時：平成19年7月1日(日)

b) テーマ：「高齢者の膝関節機能障害に  
対するアプローチ」

c) 講 師：嶋田誠一郎

(福井大学医学部附属病院)

d) 会 場：未定(高岡地区の会場予定)

#### ③ 小研修会の開催

a) 日 時：平成20年2月25日(月)

b) 内 容：骨関節疾患のレクチャー

c) 講 師：未定

d) 会 場：富山協立病院

(6) 物理療法研究会

#### ① 研究活動

- ②研修会の開催
- a)日 時：平成19年9月30日(日)
- b)テーマ：「痛みに対する徒手療法」
- c)講 師：加藤謙一  
(金沢リハビリテーションアカデミー)
- d)会 場：富山医療福祉専門学校
- (7)スポーツ系研究会
- ①研究活動
- ②研修会の開催
- a)日 時：平成19年12月16日(日)
- b)テーマ：「スポーツ理学療法の展開  
－関節運動学をもとにした  
アプローチ－」
- c)講 師：未定
- d)会 場：富山医療福祉専門学校
- ③小研修会の開催
- a)日 時：毎月第3木曜日
- b)内 容：1.マッサージ  
2.テーピング  
3.モビリゼーション  
4.ストレッチ  
5.アスレチックリハビリ  
テーションの進め方について  
の技術研修
- c)講 師：スポーツ系研究会企画委員
- d)会 場：富山医療福祉専門学校
- ④研修会の企画
- (8)教育管理系研究会
- ①運営会議
- ②研修会の開催(日本理学療法士協会共催)
- a)日 時：平成19年11月9日(金)・  
10日(土)
- b)テーマ：「リハビリテーション部門の  
マネージメントー今、求め  
られるマネージメントー」
- c)講 師：  
中屋久長(高知リハビリテーション学院)  
森本 栄(日本健康機構株式会社)  
山崎裕司(高知リハビリテーション学院)
- 伊藤隆夫(在宅総合ケアセンター元浅草)  
鹿内清三(東京海上日動メディカル  
サービス株式会社)
- d)会 場：未定
- ③研修会の企画
- (9)理学療法基礎系研究会
- ①研究活動
- ②研修会の開催
- a)日 時：平成19年6月10日(日)
- b)テーマ：「医療・介護分野における統  
計学」
- c)講 師：折笠秀樹(富山大学)
- d)会 場：富山医療福祉専門学校
- ③小研修会の開催
- a)日 時：平成19年8月24日(金)  
11月9日(金)
- b)内 容：「筋力増強の生理学・EBM」  
「筋力増強運動の実際」
- c)講 師：理学療法基礎系研究会企画委員
- d)会 場：富山医療福祉専門学校
3. 学会発表等の支援活動
- [学術資料部]
1. 学術誌「みんなの理学療法」の企画及び  
編集・発行
2. 学術資料保存についての検討
3. 学術資料の整理及び貸し出し、閲覧
- <教 育 局>
- [卒前教育部]
1. 研修会：「臨床実習教育研修会」  
(日本理学療法士協会共催)
- (1)日 時：未定(7月下旬～8月上旬予定)
- (2)会 場：サンシップとやま
- (3)講 師：未定
2. 研修会：「視覚的動作分析の基礎と臨床」
- (1)日 時：11月17日(土)・18日(日)
- (2)会 場：未定
- (3)講 師：福井 勉(文京学院大学)

〔卒後教育部〕

1. 研修会：「卒後教育研修会」

- (1)日 時：平成19年6月24日(日)
- (2)会 場：富山医療福祉専門学校
- (3)テーマ：

①「生涯学習」

講 師：寺田一郎  
(富山県厚生連高岡病院)

②「世界の理学療法」

講 師：河端久美子  
(金沢リハビリテーションアカデミー)

2. 研修会「あすなろ研修」

- (1)日 時：平成19年12月2日(日)
- (2)会 場：富山医療福祉専門学校
- (3)テーマ：

①「管理運営」

講 師：塚本 彰  
(富山県厚生連高岡病院)

②「人間関係」

講 師：城戸智之  
(富山医療福祉専門学校)

③あすなろカンファレンス

3. 生涯学習計画試案作成

前年度施行のアンケート調査結果の分析、  
生涯学習計画試案の作成を行う

〔研修管理部〕

1. 研修管理

- (1)新人教育、生涯学習の推進、啓発
- (2)受講証の発行

新人教育プログラムおよび生涯学習基礎プログラム対応研修会に対し、受講証を発行

2. 教育・研修計画発行

- (1)新人教育プログラム単位認定
- (2)平成20年度教育・研修計画の発行

〈職 能 局〉

〔業務推進部〕

1. 管理者会議の開催

日 時：平成20年2月29日(金)

2. 機関誌「a n t t a知っとっけえ」の発行  
(年1回)

3. 医療保険部・介護保険部主催の研修会の  
準備、運営  
〔医療保険部〕

1. 医療保険制度に関する情報の収集と発信  
(情報発信は士会HPを利用)

2. 医療保険制度等に関する研修会の開催  
日 時：平成19年12月9日(日)

3. 医療保険制度に関する相談窓口の設置  
〔介護保険部〕

1. 介護保険制度に関わる情報の収集・整理・  
発信(士会HPからの発信)

2. 介護保険関連の制度等に関する小研修会  
の開催  
日 時：未定(平成19年7月予定)

3. 介護保険制度の関わるサービス事業者か  
らの相談対応

〈公益事業局〉

〔福祉事業部〕

1. 「第6回介護老人福祉施設リハビリテー  
ション研修会」の企画と実施

(1)日 時：平成19年11月14日(水)

(2)会 場：サンシップとやま

(3)テーマ：未定

2. ノーマライゼーション推進事業の企画と  
実施

(1)「第26回富山市民ふれあい広場」参加  
日 時：未定(9月中旬予定)

(2)その他、同様のイベントに参加

3. 講師派遣事業

(1)講師派遣に向けての勉強会の開催

(転倒予防、介護方法、家庭でのリハビリ等)  
(2)市町村関連団体や各種団体からの要請  
に応じ対応

〔保健事業部〕

1. 研修会 テーマ「身障スポーツについて」  
日 時：未定(11月頃)



2. 身障スポーツに関する情報収集・発信
3. 身障スポーツ・各種スポーツ活動支援  
(1)身障スポーツに関して、各種競技団体からのPT要請に関する対応・窓口  
(2)各種スポーツまたは、その準備などを含めた活動の支援・援助

#### 〔広報部〕

1. 理学療法週間事業の企画と実施  
(1)日 時：7月22日(日)  
(2)会 場：イオン高岡ショッピングセンター
2. 広報誌「きときとPT」No.2の発行とNo.3の企画・作成
3. いきいきとやま・第20回健康と長寿の祭典への出展の企画と実施  
(1)日 時：10月11日(木)・12日(金)  
(2)会 場：富山県民会館

#### 〔調査部〕

1. 士会活動に関する調査ならびに資料の管理
2. 他士会の動向、定点調査等

#### 〈事務局〉

##### 〔事務局〕

1. 事務局の管理
2. 理事会・役員会の運営
3. 各種定型書類の整理
4. 郵便物郵送・管理
5. 士会員の異動、登録などの管理
6. 士会員の慶弔に関する業務
7. 渉外活動、連絡調整
8. 消耗品、備品の管理

##### 〔財務部〕

1. 財務管理
2. その他

##### 〔情報管理部〕

1. 士会ニュース 年4回発行  
(6月15日、9月15日、12月15日、3月15日)  
及び年報6月15日発行
2. 士会ニュース及び年報の発送
3. 士会ホームページの企画・管理・運営

#### 〔福利厚生部〕

1. 新人・転入会員歓迎会  
日 時：平成19年6月24日(日)
2. 北陸三県士会役員交流会  
日 時：平成19年6月30日(土)
3. 県士会員交流会  
日 時：未定(平成19年9月予定)
4. ボウリング大会&新年会  
日 時：平成20年1月12日(土)

#### 〔組織部〕

1. 定款・細則の見直し
2. 組織・運営に関する事項の検討
3. 法人化に関する情報収集と対応検討

#### 〈委員会〉

##### 〔選挙管理委員会〕

##### 〔表彰審査委員会〕

- ・表彰に関する事項の検討

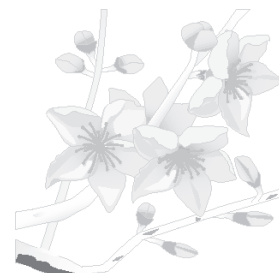
##### 〔地区連絡会〕

- ・地区連絡会議開催

#### 〈特別事業〉

##### 〔富山県理学療法学会〕

- ・第13回富山県理学療法学会の開催  
テーマ：「人としてのあり方を見つめる  
一人と人をつなぐもの」  
日 時：平成19年10月14日(日)  
会 場：高岡市ふれあい福祉センター  
大会長：新 清光(高岡市民病院)  
特別講演：大谷孝行(富山国際大学)



## 平成19年度一般会計収支予算(案)

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

### 収入の部

単位：円

科目	細目	予算	前年度予算	増減	備考
会費収入		3,600,000	3,447,000	153,000	
	正会員会費	3,195,000	2,952,000	243,000	会費：9,000×325名 新入会員：9,000×30名
	入会金	75,000	75,000	0	2,500×30名
	賛助会員会費	330,000	420,000	-90,000	賛助会費：30,000×11施設
事業収入		4,144,000	4,194,000	-50,000	
学術局	専門領域研究部事業	1,490,000	1,600,000	-110,000	研修・講習会参加費：1,290,000 共催金：200,000
	学術資料部事業	125,000	125,000	0	出版広告掲載費：125,000
教育局	卒前教育部事業	780,000	775,000	120,000	臨床実習教育研修会参加費：240,000 協賛金：300,000 理学療法教育研修会参加費：240,000
	卒後教育部事業	115,000			卒後教育研修会参加費：35,000 あすなる研修参加費：80,000
	研修管理部事業				
職能局	業務推進部事業				
	医療保険部事業 介護保険部事業	20,000	40,000	-20,000	研修会参加費：20,000
公益事業局	広報部事業	0			
	福祉事業部事業 保健事業部事業	200,000 80,000	400,000	-120,000	リハビリテーション研修会事業参加費：200,000 研修会参加費：80,000
	特別事業	240,000	200,000	40,000	参加費：2,000×120名
事務局	福利厚生部事業	790,000	490,000	300,000	北陸三県交流会：360,000 県士会交流会：120,000 新人歓迎会：45,000 新年会費：265,000
	情報管理部事業	304,000	564,000	-260,000	士会ニュース広告料：304,000
助成金		200,000	150,000	50,000	協会委託費
雑収入	利息	500	1,000	-500	
	その他	10,000	0	10,000	メディカルオンライン
当期収入合計(A)		7,954,500	7,792,000	162,500	
前期繰越収支差額		1,900,000	1,200,000	700,000	
収入合計(B)		9,854,500	8,992,000	862,500	

## 平成19年度特別会計①収支予算(案)

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

### 収入の部

単位：円

科目	細目	予算	前年度予算	増減	備考
繰入金		900,000	600,000	300,000	
	東海北陸理学療法学会大会	300,000	300,000	0	平成17年度分
	東海北陸理学療法学会大会	300,000	300,000	0	平成18年度分
	東海北陸理学療法学会大会	300,000	0	300,000	平成19年度分
事業収入		0	0	0	
	東海北陸理学療法学会大会	0	0	0	
雑収入	利息	5	5	0	
当期収入合計(A)		300,000	300,000	0	
前期繰越収支差額		600,000	300,000	300,000	
収入合計(B)		900,005	600,005	300,000	

## 平成19年度特別会計②収支予算(案)

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

### 収入の部

単位：円

科目	細目	予算	前年度予算	増減	備考
繰入金		300,000	300,000	0	
	記念事業	0	0	0	平成17年度分
	記念事業	300,000	300,000	0	平成18年度分
	記念事業	300,000	0	300,000	平成19年度分
雑収入	利息	5	5	0	
当期収入合計(A)		300,005	300,005	0	
前期繰越収支差額		1,500,000	1,200,000	300,000	
収入合計(B)		1,800,005	1,500,005	300,000	

# 平成19年度一般会計収支予算(案)

平成19年4月1日から平成20年3月31日まで

## 支出の部

単位：円

科目	細目	予算	前年度予算	増減	備考
学術局事業費		2,499,500	2,520,300	- 20,800	
	専門領域研究部	1,984,500	2,017,800	- 33,300	部会会議費：46,000 研究会事業費：1,938,500
	学術資料部	515,000	502,500	12,500	印刷費：420,000 通信費：60,000 会議費：15,000 謝礼：20,000
教育局事業費		993,000	889,000	104,000	
	卒前教育部	780,000	889,000	104,000	臨床実習教育研修会：540,000 理学療法教育研修会：240,000
	卒後教育部	133,000			あすなろ研修：83,000 卒後教育研修会：50,000
	研修管理部	80,000			管理費：10,000 事業費：70,000
職能局事業費		228,000	285,000	- 57,000	
	業務推進部	98,000	165,000	- 67,000	管理者会議費：66,000 印刷費：32,000 研修会事業費：0
	医療保険部	88,000	60,000	28,000	会議費：8,000 消耗品：5,000 研修会事業費：75,000
	介護保険部	42,000	60,000	- 18,000	消耗品：10,000 会議費：12,000 通信費：20,000
公益事業局事業費		898,000	1,145,000	- 247,000	
	福祉事業部	217,000	417,000	- 200,000	会議費：50,000 ノーマライゼーション推進事業：17,000 リハビリテーション研修会事業：150,000
	保健事業部	204,000	239,000	- 35,000	会議費：3,000 活動費：30,000 消耗品：15,000 (身障スポーツ) 会議費：50,000 活動費：15,000 通信費：16,000 印刷費：20,000 講師謝礼金：30,000 会場費：15,000 消耗品：10,000
	広報部	408,000	388,000	20,000	理学療法週間事業費：165,000 会議費：50,000 健康と長寿の祭典事業費：23,000 広報誌：170,000
	調査部	69,000	101,000	- 32,000	会議費：9,000 通信費：40,000 定点調査費：20,000
特別事業費	富山県理学療法 学術大会	470,000	440,000	30,000	講師謝礼金：50,000 会場費：100,000 準備運営費：80,000 印刷費：120,000 通信費：70,000 会議費：50,000
事務局管理費		3,099,880	2,664,880	435,000	
	事務部 財務部	1,185,000	925,000	260,000	会議費：100,000 通信費：250,000 活動費振込料：5,000 役員活動費：250,000 消耗品費：300,000 備品：200,000 (PC・マイク・スピーカー) 公衆衛生学会協賛金：20,000 IT：60,000 (ADSL)
	情報管理部	928,180	945,680	- 17,500	印刷費：670,000 通信費：195,000 消耗品費：1,500 会議費：60,000 雑費：1,680
	組織部	12,500	12,500	0	会議費：12,500 (500円×5名×5回)
	福利厚生部	918,500	771,000	147,500	新人歓迎会費：65,000 会議費：30,000 北陸三県交流会費：372,000 新年会費：294,000 県士会交流会費：157,500
	表彰審査委員会	5,700	5,700	0	通信費：1,200 会議費：4,500
	選挙管理委員会	0	5,000	- 5,000	会議費：5,000
	地区連絡会	50,000	0	50,000	会議費：50,000
繰入金支出	特別会計繰入金	600,000	600,000	0	学術大会繰入金：300,000 記念事業繰入金：300,000
予備費		1,066,120	447,820	618,300	
当期支出合計(C)		9,854,500	8,992,000	862,500	
当期収支差額(A-C)		- 1,900,000	- 1,200,000	- 700,000	
次期繰越収支差額(B-C)		0	0	0	

## 平成18年度 第7回 理事会報告

日時：平成19年1月11日(木)19:00～  
場所：富山市民病院リハビリテーション室  
出席者：塚本 田村 滝田 島倉 寺田  
政井 堀尾 川合 城戸 森山  
有島 (書記)

### < 報告事項 >

事務局報告：PT協会関連・他都道府県士会関連・関連団体からの事務局宛郵送物、公文書発行、会員異動状況の報告。

第6回循環器講習会報告(学術局専門領域研究部)：平成18年11月5日(日)、富山県厚生連滑川病院にて開催。「循環器障害をとらえる」をテーマに心電図モニターの見方や装着実技などが行われた。参加者は23名であった。

第4回研修会報告(学術局専門領域研究部)：平成18年11月18日(土)、富山医療福祉専門学校にて開催。「心大血管リハビリテーション」をテーマに、聖マリアンナ医科大学病院理学療法士 渡辺敏氏より、大動脈解離のリハビリテーションを中心にご講演いただいた。

その他：平成19年3月11日(日)に開催予定の「第13回富山県理学療法学会」について報告された。

### < 検討事項 >

1. ボウリング大会・新年会計画(福利厚生部)：平成19年1月13日(土)、「富山地鉄ゴールデンボウル」、「和の酒和の膳 ばさら」にて開催予定。今後も会員相互の交流を深める場として、参加者を募っていくことを確認。
2. 第1回研修計画(中枢神経研究会)：温泉リハビリテーションいま泉病院にて、

平成19年1月25日(木)、2月22日(木)の2回に分けて、脳血管障害後遺症のリハビリテーションについて小研修会を開催予定。

3. 第2回ケーススタディー(骨関節疾患研究会)：平成19年2月5日(月)、富山協立病院にて「大腿骨頸部骨折の現状と課題」をテーマに、レクチャー形式で開催予定。
4. 平成19年度計画案・予算案：平成19年度の会長メッセージ・事業計画指針(案)・事業計画(案)・一般会計収支予算(案)が提示された。次回理事会(拡大委員会)で確認のうえ、総会にて会員に報告。
5. その他：総会案内と選挙は平成19年2月1日頃に公示、立候補締め切りは2月23日とする。

## 平成18年度 第8回 理事会(第2回拡大役員会)報告

日時：平成19年1月20日(土)14:00～  
場所：富山医療福祉専門学校 講堂  
出席者：塚本 田村 滝田 堀尾 新  
西川 島倉 城戸 川合 寺田  
政井 竹中 中谷 金森 杉谷  
酒井 中屋 増山 飯島 広川  
菱田 柴田 宮原 (書記)

### < 審議事項 >

1. 会長メッセージ・平成19年度事業計画指針：会長 塚本より報告。基本・活動方針の他、重要活動指針として組織部より提言された「地区連絡会」の設立を挙げ、富山県を7つの地区に分け、互いに顔が見える事業の展開を図るとの考えが出された。
2. 平成19年度事業計画年間スケジュール案：

各部署の計画において、審議の上で概ね日程が決定される。平成19年度より、富山県理学療法学会大会の開催時期が10月と大幅に早まり、業務推進部主催の管理者会議は医療保険改定時期を考慮し2月末となる。

3. 平成19年度事業計画案：各部署より計画案を報告。研修会においては、前年度に引き続き、日本理学療法士協会教育・管理系理学療法研究部会共催の計画が出された。事務局より備品台帳作成案が提示され、今後会員に分かりやすい備品案内

のあり方について検討する予定。福利厚生部事業の北陸三県交流会において、平成19年度は富山県が主催となる他、対象が士会役員に変更。県士会会員の交流については、スポーツを交えて地区対抗戦など今後検討する。

4. 平成19年度予算案：事務局長 城戸より報告。収入では、日本理学療法士協会からの理学療法週間事業協会助成金が、協会委託費と名目変更。支出では、予備費が収入合計の1割を確保できている。

## 士会員の独り言

### 責任とは

温泉リハビリテーションいま泉病院 重光 健一

私は、理学療法士の資格を取得して富山市内の病院に就職し、はや4年、4月になれば5年となります。そんな中で、年を追う毎に徐々に責任のある仕事に就くようになり、今回、責任とは何かについて調べました。

責任とは、インターネットで調べたところ、「社会における自由に伴って発生する負担である。自由な行為・選択に伴い、結果に応じた責任が発生する。その行為に応じた責任以外を負う必要はない。何が行為に応じた責任に当たるかは道義的なレベルにおいては不明確であり、しばしば争いの原因となる」と言われています。

私たちは、医療の現場で働いているため、事故が起こると責任が問題となってきます。

医療事故と責任について調べてみると、「医療機関と患者の関係は、一種の契約（診療契約）なのですが、患者さまが病院に訪れて治療してください、といったときに、『あなたを治します』という契約は行えず、『あなたの病気について診断し、最善の治療行為を行う、最善を尽くします』という契約は行える。この『最善を尽くします』という言葉が、私たちにとって一番大事な責任のとり方で、経過に万全の責任を負うのだと肝に銘じることに他ならない。結果について責任をとりえない、だからこそ、そこに至るまでの経過は私たちが全責任を負うことになる」と言われています。

経過について責任を負うためには経過を記載するカルテが重要となってきます。カルテは誰でも読むことができ、どれだけ時間が経過していようと説明することができる、という必要性があると思います。これは、専門職として重い責任ですが、果たすべき必要のあるものだと思います。

今後、何があるかはわかりませんが、「責任」という言葉を今一度、自分の中で考えられたら幸いです。

# 北陸三県理学療法士交流会報告

事務局長 城戸 智之

北陸三県理学療法士交流会は今年石川県士会担当で、平成18年11月18日（土）ホテルキャッスルイン金沢にて研修会と役員会議、懇親会が開催されました。

研修会では、「医療従事者の法的責任」と題し元脳神経外科医で現在弁護士の松本哲哉先生のご講演がありました。実際に医療の現場で勤務されていた先生のお話ですので臨床に即した、大変有意義な研修会でした。質疑応答では臨床実習に関する話題や記録の重要性等の質問が出され、改めて責任の重さを実感した次第でした。

懇親会では、石川、福井、富山の会員同士の情報交換、久しぶりの再開、初めてであったり、いろいろな連携のネットワークが作られました。

この北陸三県理学療法士交流会は、今年で第19回になりましたが、会員の増加、スケジュールの調整等の要因で、今後は役員会議・交流会を中心としていくこととなりました。次年度は富山県士会が担当県ですので、この三県の絆を元に有意義な情報交換の場となる様、計画できればと思いました。

2007年

## 富山県士会 ボウリング大会・新年会

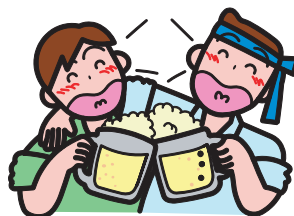
西野内科病院 中村 明夫

今年は暖冬の様ですが、新年会当日は時折雪がチラチラ降る、寒い夜となりました。寒さを吹き飛ばすように塚本会長以下元気な先生方が集まり、熱気の中でボウリング大会および新年会が行われました。

ボウリング大会では2人ずつペアとなつての対抗戦で2人の2ゲームの合計点数で競うというものでありました。ストライク連発でプロ並みの点数をたたき出す先生、ボールが横に逸れてしまいあまり点数の伸びない先生方も同様に和気藹々と、ボールを投げておられました。やはり競争となると研修会以上？に皆さん真剣でした。

私自身はあまり点数が伸びない方でしたが幸運なことにペアで組ませて頂いた先生が高得点で、私の点数をカバーして下さったおかげで入賞することが出来ました。

ボウリング大会が終わった後、まだ興奮が冷め切らない中で、場所を和食の店に移して、新年会が開かれました。先生方は酒を酌み交わしながら、活発な意見・情報交換がなされたようであります。そして今年1年の活躍をお互いに祈りながら楽しい語らいは続いています。



# 事務局インフォメーション

## 職能局の相談窓口

職能に対して、職能局では電話による相談を受け付けています。お気軽に何でもお尋ねください。

電話番号(0765)24 3999 FAX(0765)24 3684

魚津市健康センター 森山まで

E-mail : akira-moriyama@city.uozu.toyama.jp

その他、理学療法に対する疑問点は、事務局で相談を受け付けています。事務局までメール等をお願いします。

## 情報管理部の窓口から

情報管理部では、富山県士会員の方から、士会活動の案内等、理学療法に関係があると思われる様々な記事を募集し、士会ニュース伝言板に掲載していく予定です。掲載希望の方は、富山赤十字病院水島朝美まで連絡をお願いします。

### 【連絡先】

〒939-0859 富山市牛島本町2-1-58

富山赤十字病院 リハビリテーション科

水島 朝美 まで

TEL (076) 4 3 3-2 2 2 2

FAX (076) 4 3 3-2 2 7 4

E-mail

rehabili@toyama-med.jrc.or.jp

## 各種届について

3月11日(日)学会終了後に総会があります。是非ご参加くださいます様、お願いします。尚、委任状のハガキは出席される場合でも出してください。士会へのご意見、提案を書き添えて送っていただけましたら幸いです。よろしくをお願いします。

会員の皆様で、職場の異動、自宅住所の変更、改姓等の変更がある際には早めに異動届提出をお願いします。

## 編集後記

今年度も終わりに近づき皆様にとってどのような一年だったのでしょうか？今年度は初めから医療報酬の改定や障害者自立支援法の施行に伴い、様々な分野で影響があり大変だったのではないのでしょうか？

当院でも平成19年2月より敷地内禁煙となります(これを書いているのは1月です)。愛煙家として肩身の狭い生活をずっと続けてきましたが、ついに年貢の納め時かと思い、禁煙することを決めました。これまで10数年間やめようとしてもなかなかやめられずにいました。しかし昨年末に体調を崩して、しばらく入院生活を送り、ついに禁煙することが出来ました。タバコを吸わなくなったためかご飯が美味しくなり、調子に乗って年末年始と食べ過ぎて、この1ヶ月で5kgも太ってしまい、現在も順調に育っております。

愛煙家の皆様で、禁煙を考えておられる方々は十分に注意してくださいね！(こんなことになるのは私だけかもしれませんが...)